

関西大学経済・政治研究所 第229回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

企業会計が広く社会に浸透しているために、支出（投資）が手段であり収入（投資回収としての売上）が目的であるという考えが一般的である。しかし、国や地方公共団体にあつては、政策を実施する上で、政策実現の支出（サービスコスト）が目的であり、その財源（税収等）としての収入が手段となる。非営利法人も含めた公共部門でも支出（コスト）と価値に関する議論が高まってきており、支出が目的の会計を深く理解する必要がある。この実例として、イギリスのケースも取り上げたい。

＜財政の健全化と公会計改革研究班 主幹 柴 健次＞

日時：2018年10月11日(木)13:00～16:10

会場：千里山キャンパス
児島惟謙館2階第2会議室

「政策と公会計」

【テーマと報告者】

「支出が目的の会計と収入が目的の会計の相違」

財政の健全化と公会計改革研究班 主幹
関西大学 大学院会計研究科 教授

柴 健次

「イギリスにおけるエビデンスに基づく政策と公会計」

財政の健全化と公会計改革研究班 研究員
関西大学 商学部教授

馬場 英朗

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員70名)
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179/FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>

主催
後援

関西大学経済・政治研究所
大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行



関西大学

